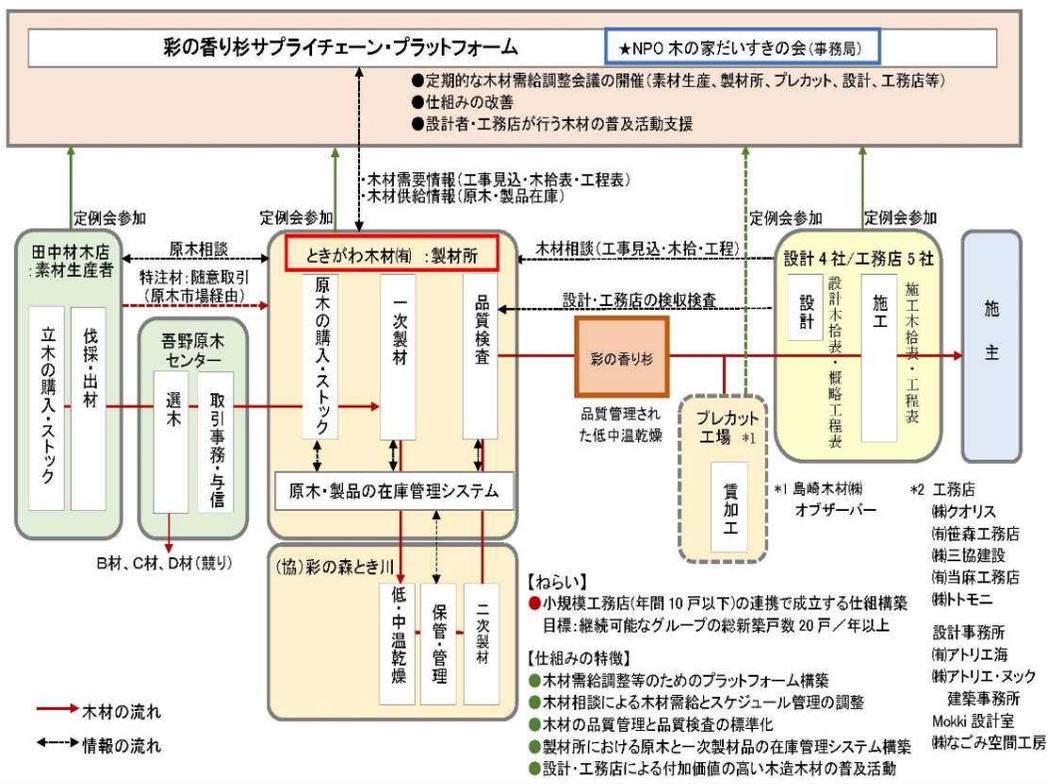


## 1. 全体概要

構築した仕組みの全体像



## 2. 取組の背景、地域の課題

### ○川上の現状と課題

西川材の特性(優良な丸太、小規模生産、きめ細かな選木等)を生かすためには、製材需要の早期把握による適切な量と品質の造材。

### ○川中の現状と課題

原木入手の厳しい競争環境に勝つためには、設計・施工者の製材需要の早期把握による適切な量と質の原木調達。

原木と半製材品の在庫管理の合理化には、需給情報の早期把握が必要。

### ○川下の現状と課題

木材の安定確保のためには、小規模設計事務所・工務店の連携が必要。

## 3. 取組の概要、成果

### ○検討委員会の開催ととりまとめ

実施計画、林業・木材関係実態報告、仕組みの全体像提案

### ○森林の循環利用を考慮した原木供給の仕組みづくり

森林の循環利用を可能とする原木取引  
 適切な量と品質の丸太生産のための製材需要の把握

### ○原木の事前調達の仕組みづくり

関係者間の木材需給情報の共有による適切な原木調達の迅速化  
 設計施工側の木材需要の適切かつ早期把握による製材所における原木と一次製材品の合理的な在庫管理

### ○彩の香り杉(杉低中温乾燥材)の品質管理方法を確立

品質検査・検収検査時の含水率、ヤング率等の計測・目視調査方法の確立及びマニュアル作成

### ○低運用コストの木材情報管理システムの立ち上げ

関係者間の認識共有、情報生成者の実態把握、木材質管理情報把握、システムの事業化方針、原木と一次製材品の在庫管理システムの稼働

### ○木材需給調整会議準備

設計段階で需給調整するための  
 木拾表の作成研修の実施

### ○消費者向け情報提供

木材調達サプライチェーンのWeb  
 サイト、パンフ、説明資料の作成



## 4. 今後の取組、課題

### ○システム開発

製材所の負担が過大にならないよう、第一段階としてQRコードによる一品管理は一次製材品のみとした。今後は、原木まで対象を拡大することが課題となる。なお、原木のエクセル表による情報管理は導入した。

### ○体制整備

構築するサプライチェーンに賛同する工務店・設計事務所の募集活動による実施体制の拡充